

燦々

SANSAN
光り輝く



田舎まつり音頭を踊った役職員たち

JAとまこまい広域広報誌
燦々光り輝く
No.282



編集・発行

〒059-1693
JAとまこまい広域本所
TEL 0145-272241 FAX 0145-273941
北海道勇払郡厚真町錦町10番地2

令和8年7月10日
ホームページアドレス
http://www.ja-tomakomai.co.jp
info@ja-tomakomai.co.jp

印刷 株式会社 須田製版

JA共済

チラシの有効期間 令和8年7月1日～31日まで

* 予定利率は、金利情勢に応じて毎月1日に設定され、月末まで同一となります。
ご契約される月によってお受取りになれる満期共済金額が変動する場合があります。
(元本回復期間も変動) なお、ご契約時の予定利率は、共済期間を通じて固定して適用されます。

ご加入できる年齢 0～80歳

まとまった資金で貯蓄と保障の両立!

一時払養老生命共済

満期時
利回り **1.93%**



【ご契約例】

加入年齢60歳 一時払共済掛金100万円 予定利率2.20% 共済期間10年の場合

満期共済金額 **1,193,576円**

一時払共済掛金との差額は

+193,576円!

解約したときの
元本割れが心配...
という方

ご安心ください!

元本回復
期間

2年

POINT①

貯蓄と保障の両立!

POINT②

80歳まで加入可能!

POINT③

簡単な告知で加入可能!

■予定利率とは、共済掛金積立金を積み立てる際に適用されるあらかじめ定められた利率のことをいいます。■現在の満期共済金額等については、右記二次元コードリンク先の「掛金シミュレーション」にてご確認ください。お近くのJAにお問い合わせください。■満期時利回りとは、一時払共済掛金に対する満期共済金の増加割合を共済期間で割ることにより算出した一時払共済掛金に対する一年あたりの利回り(率)のことです。■満期時利回り(%)=(満期共済金-一時払共済掛金)÷(一時払共済掛金)×共済期間(年数)×100 ■早期にご解約される場合、お支払いする返れい金がお払込みいただいた共済掛金を下回ることがあります。■ご契約から5年以内に解約された場合、解約返れい金は源泉分離課税の対象となります。■2037年12月31日までの間、復興特別所得税の加算により源泉徴収の税率は20.315%(所得税等15.315%・住民税5%)となります。■元本回復期間とは、各共済年度の末日時点の解約返れい金の額がお払込みいただいた共済掛金の額以上になるまでの年数をいいます。■この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。■記載のお取扱いについては、令和8年1月末現在の法令等に基づくものです。

JAで保障を見積ると/
抽選で 総計 **1,000名**様に 素敵な**賞品**が当たる!
詳しくはこちら

一時払養老生命共済の
仕組みについて
詳しく知りたい方、
資料請求を
ご希望の方はこちら↓



お問い合わせは

JAとまこまい広域

本所共済課 TEL 0145-27-2244
白老支所 TEL 0144-82-2266

苫小牧支所 TEL 0144-84-5117
早来支所 TEL 0145-22-2526

穂別支所 TEL 0145-45-2214
追分支所 TEL 0145-25-2525

[26019990033]

令和8年度新規就農者激励会
～新たな地域農業の担い手にエールを送る～

特集

令和8年度

新規就農者激励会

新たな地域農業の担い手にエールを送る

新規就農者紹介



- ① 農業を志した理由を教えてください。
- ② 今後どのような農業をしていきたいですか。
- ③ 趣味や特技を教えてください。
- ④ 5年後の自分に向けて一言お願いします。

いたがき らむ
板垣 来夢さん



【追分支所】
経営主：板垣来夢(本人)
経営体：野菜

① 自然の中で働くことに興味があり、自分のペースで取り組める農業に魅力を感じたため。
② おいしいメロンをたくさん作りたい。
③ 趣味はゴルフです。最近は一パークゴルフを始めました
④ しっかり稼げてますか？

さかた もえ
坂田 萌さん



【早来支所】
経営主：坂田学(さかた がく)
経営体：野菜

① 自分自身で安全で美味しい農産物を作りたいと思ったことがきっかけです。自然と向き合いながら、地域に根差した農業を続けていきたいと思い、就農を決定しました。
② 有機JAS認証を活かし、環境に配慮した持続可能な農業を実践していきたいです。また、安全性だけでなく、「また食べたい」と思っていただけの美味しさにもごたわり、地域の方々に信頼される農家を目指したいと思っています。
③ バイク、旅行
④ 初心を忘れず、自然や人とのつながりを大切にしながら一歩ずつ成長できていますか。身体に気を付けて、楽しみながら農業を続けてください。

そが つかさ
曾我 司さん



【白老支所】
経営主：曾我司(本人)
経営体：肉牛

① 正直、最初から農業を目指していたわけではありません。創業者である祖父が亡くなったのをきっかけに祖父が築いてきた牧場を守り、発展させ、その歴史と想いを次の世代につなげていきたいと思い農業の道を選びました。命を預かる責任と向き合いながら、地域に根差した牧場経営に取り組んでいます。
② 繁殖から肥育まで一貫して取り組む強みを活かし、高品質な白老牛を安定して生産できる牧場を目指しています。また、働きやすい職場づくりや経営改善にも力を入れ、地域や次世代に必要とされる持続可能な牧場経営を実現したいと考えています。
③ 趣味は、アウトドア全般で、キャンプや登山、サイクリングなどです。最近忙しなかなが時間が取れませんが、自然の中で過ごすことが好きです。特技は走ることで、小学生から大学生まで陸上競技の短距離種目に取り組んでいました。
④ 今の苦労や挑戦が実を結び、牧場がより良い方向へ進んでいますか、初心を忘れず、支えてくれる家族や従業員への感謝を大切にしながら一歩ずつ前進し続けてください。

たかい しょうた
高井 翔太さん



【厚真支所】
経営主：ACD北土(株)
経営体：稲作・畑作

① 転職活動中に、ACD北土(株)の代表取締役 永山さんに出会い、農業に魅力を感じたため就農しようと思った。
② 楽しく農業をしたい。
③ スキー
④ ガンバレ!

みよし りょうや
三好 凌也さん



【厚真支所】
経営主：三好祐樹(みよし ひろき)
経営体：稲作・畑作・野菜

① 大学卒業後、約10年間営業として働いていました。外の世界を経験したうえで、家業である農業を次世代に繋ぎたいと思い就農を決定しました。
② 先代が築いてきた農業を大切に受け継ぎながら、自分なりの工夫も取り入れ、子ども達の世代にも魅力ある仕事として残せるような持続可能な農業経営を目指したいです。
③ サッカーやバスケットなど、体を動かすことが趣味です。落ち着く時期になって機会があれば是非参加したいです。
④ 初心を忘れず、家族や地域に誇れる農業を続けていってください。

よしおか はくと
吉岡 珀和さん



【厚真支所】
経営主：(株)のやすべ
経営体：稲作・畑作・野菜

① 前職で農業機械メーカーに勤めていた際に農業の魅力、また昨今の農業が抱えている問題、特に農業従事者の高齢化などを身近な場所で感じた際に自分にも何か貢献できることはないかと考えたため。
② 新しい知識や技術を取り入れながらも、地域の農家の諸先輩方や引退された農家の方の知識も応用していけるような農業を目指したい。
③ 釣り
④ 安定した農業を営みながらも、地域への貢献や青年部活動等にも尽力していけるよう励んでください。

つしま しょうや
對馬 翔也さん



【厚真支所】
経営主：對馬翔也(本人)
経営体：野菜

① 妻と道の駅巡りで野菜のおいしさに惹かれて自分たちもやってみようというのきっかけです。
② 品質を保ち、収量を増やせるように色々試していきたいと思う。
③ 釣りで、冬に行けると思い農業を頑張ります。
④ 健康でより長く農業をできるよう無理せず頑張るように。

ごとう りょうへい
後藤 涼平さん



【厚真支所】
経営主：後藤涼平(本人)
経営体：野菜

① 十勝の農業法人で働いていたときに農業の楽しさを知り、自分で営農したいと思い志しました。
② いろいろと試行錯誤しながら働きやすい環境を作っていきたいと思っています。
③ フットサル、ホームセンター巡り
④ お金に困らないくらい稼いでください。

やました わたる
山下 航さん



【厚真支所】
経営主：山下航(本人)
経営体：肉牛

① 両親がしていた仕事(畜産業)に興味を持ち、両親のお手伝いをしているうちに仕事のやりがい、楽しさを見出したからです。
② 改良組合の皆さんに引けを取らない牛を出荷したいです。
③ 競馬、ゲーム、野球
④ 自分のペースでお仕事頑張ってください。

おおはま けいご
大濱 啓吾さん



【厚真支所】
経営主：岡村信洋(おかくら のぶひろ)
経営体：稲作

① 妻の実家が後継者不在の為、自分が引き継ぎたいと思ったのが理由です。農業にも興味があり、挑戦しようと考えました。
② 現在は米作りに取り組んでおり、まずは基礎をしっかりと身につけていきたいと考えています。これから経験を積みながら、自分なりに工夫し、安定して続けられる農家を目指していきたいです。
③ 趣味はバレーボールです。体を動かすことが好きで続いています。また、子どもが野球をしているので、一緒に応援やサポートをする時間も楽しんでいます。
④ 5年後の自分へ まだまだ勉強中だと思いつけど、コツコツ努力して、胸を張って農業を続けられている自分でいてください。

しまくら かい
島倉 耀さん



【厚真支所】
経営主：島倉耀(本人)
経営体：野菜

① 前職(福祉職)で農福連携という言葉を知り農業に興味を持ちました。自分の頑張りで次第で結果が変わる個人事業主に魅力を感じチャレンジしたいと思いました。農業を通じて人と人がつながる活動が出来たらと思います。
② 施設園芸のほうれん草をメインとしながら、将来的には新しい作物の栽培を夫婦2人でチャレンジ出来たらと考えています。小規模でもコツコツと積み重ねて良質な物を作り、消費者に選んでもらえる農業をしたいです。
③ 野球観戦、ドライブ、掃除、スマホゲーム
④ 初心を忘れず、身体を大切にして励んでください。家族時間を大切に。

くわしま しょうた
桑島 翔太さん



【厚真支所】
経営主：桑島翔太(本人)
経営体：野菜

① サラリーマン時代に取り組みたかった「直販」に自分で取り組みたくなったことに加え、農業を絡めたビジネスにわくわくしたため。
② 家族と不自由なく生活できる農業
③ 旅行、サウナ
④ 家族で仲良く暮らせていますか？身体に気を付けて頑張ってください。

た吉岡珀和さん(23歳)は「農業機械業界で働きたい機械整備の知識を活かし、父親と支えあいながら頑張りたい」と意気込みを語った。

参加者には激励状のほかJAグループ4連及び全共連から記念品として農業関連の書籍や果樹の苗木、同JAよりオーパーオールが贈呈された。

同会終了後には当JA取組事業を紹介した他、JA北海道中央会札幌支所の遠藤俊職員を講師として「JAの成り立ちと役割について、北海道農業をとりまく情勢について」と題し研修会を開催し、参加者はJAの基本的な仕組みや各連合会などの組織とそれぞれの役割について理解を深めた。



▲参加した新規就農者たち

6月9日、JAとまこまい広域では厚真町の本所で令和8年度新規就農者激励会を開催し、白老支所1名、早来支所2名、追分支所2名、厚真支所9名の計14名(うち夫婦就農2件)が就農を果たし、10名が参加した。同会は毎年、新規就農者やUターン青年等を対象にしており、JAとまこまい広域では平成15年の初回から延べ229名が管内に就農を果たした。

開会にあたり堀弘幸組合長より参加者へ激励状が手渡され、「世界情勢による影響や地域農業の継承など、課題も多いが、農業は食を支える生命産業であり、地域産業でもあります。未来の農業・地域を担う一員としてこれからの活躍とご健勝をお祈り申し上げます」と参加者へ激励の言葉を贈った。また、参加者より今後の抱負が述べられ、厚真町豊丘地区で農機具メーカーでの経験を経てUターン就農を果たした



▲激励の言葉を贈る堀組合長



▲抱負を述べる吉岡珀和さん



▲激励状贈呈の様子

爆光

SANSAN
光り輝く

No.282 CONTENTS

- 01 特集 令和8年度新規就農者激励会
～新たな地域農業の担い手にエールを送る～
- 03 カメラレポート
- 07 ・【白老】白老牛銘柄推進協議会
2026白老牛肉まつり開催
- 08 ・第54回あつま田舎まつり開催
JAとまこまい広域、お祭りの盛り上げに貢献
- 09 理事会報告
- 10 期待の農力 郷野晃慈さん
- 11 ワンポイント當農情報
- 12 あぐり講座
- 13 JAからのお知らせ
- 14 ・とまこまい広域女性部白老支部ガーデニング講習会
「個性豊かな鉢植え作りに挑戦」
・青年部Instagram開設のお知らせ
- 裏表紙 一時弘養老生命共済



「第54回あつま田舎まつり」が開催。「田舎まつり音頭パレード」が厚真町のメインストリートにて行われ、同町の関係団体が参加した。JAとまこまい広域の役職員25名が踊り、祭りの幕開けを彩った。

広域

JAとまこまい広域ホルスタインシヨウ開催
乳牛の体型や資質を審査し、
最高位を競う

胆振管内JAとまこまい広域は7月2日、安平町の北海道ホルスタイン共進会場で「2026JAとまこまい広域ホルスタインシヨウ」を開催した。未經産の部で山田耕司さん（厚真町）の「オーシャンカーリーハーゲン」、経産の部で田村祥一さん（安平町）の「エタニティブリーディングクラスグローリア」がそれぞれ最高位に輝いた。



▲受賞した牛と関係者ら



▲審査の様子（最高位、準最高位審査）

今年度は、管内の酪農家より未經産牛7頭（4部門）と経産牛12頭（3部門）の計19頭が出陳。株式会社野澤組の只石大喜さんが審査員を務め、部門別審査と最高位審査、講評を行った。第7部審査では来場者全員が参加可能な順位予想投票を開催。出陳される6頭の順位を予想し、審査結果に最も近い10名の参加者へ管内安平町追分の特産アサヒメロンが贈られた。

追分

追分カン口初出荷・初競り

今年の販売目標
金額2千5百5十万円

肌をなでる風が爽やかな5月27日。安平町追分特産である追分カン口が初出荷を迎えた。今年最初の出荷となったのは、追分カン口組合副組合長を務める、鎌野太地（41）さんで初出荷のカン口は「小林香瓜」14箱。

鎌野さんは「昨年に続き今年も春先は気温が低く、生育面で心配する場面もあったが、その後は天候にも恵まれ、昼夜の寒暖差の影響で生育が順調に進み、糖度もしっかりと乗った。甘みが強く品質の高いカン口に仕上がりに、ここ数年の中でも特に出来の良い作物となった。久しぶりに順調な生育で収穫を迎えることができ、大変うれしく思う。今後はカン口の生産者が増え、カン口の知名度向上と産地の発展につながることを期待している。これからも美味しいカン口づくりにも励んでいきたい」と話してくれた。



▲初出荷を迎えた鎌野太地さん



▲初出荷されたカン口



▲祝辞を述べる石橋専務

翌日、札幌みらい中央青果で行われた初競りでは、3L（14〜15玉入り）のカン口が最高1万円の価格をつけ、今回出荷された14箱合計でおよそ10万1千5百20円（税込）となった。
今年、追分カン口組合では、生産者6戸で3haを栽培し、9月中旬までに6,900箱（55t相当）を出荷する予定で、販売額はおよそ2千5百5十万円を目指す。

広域

北海道胆振総合振興局の現地調査受入

JAとまこまい広域振興局現地調査

6月22日、JAとまこまい広域は北海道胆振総合振興局、牧野充局長をはじめとする視察団の現地調査受け入れを行い、厚真町の基盤整備された水田における水稲圃場やブロッコリー圃場、並びに最盛期を迎える安平町追分地区のアサヒメロン集出荷場を視察した。同調査は振興局及び農業改良普及センターがより効果的な情報提供と技術支援を実施するため行っている。当日は北海道胆振総合振興局より5名、胆振農業改良普及センターより2名が訪れた。



▲水稲圃場を視察の様子（厚真町）

今回視察した厚真町の水稲の圃場では、水稲奨励品種現地試験が行われており、「上育485号」「ふっくりんこ」「ななつぼし」の三品種を生育している。普及センターの担当者がそれぞれの品種について説明を行い、説明を聞いた振興局の方からは「上育485号」についての質問が多く挙がった。
ほか、ブロッコリー圃場ではとまこまい広域ブロッコリー部会の大垣勇人会長が、安平町追分地区のアサヒメロン集出荷場では追分アサヒメロン組合の安井貴志会長がメロンの生産者戸数や出荷量、販売金額について説明した。説明後、振興局はメロンの糖度を確認する様子など、メロンの品質検査を視察した。



▲安平町アサヒメロン集出荷場を視察の様子（安平町）

厚真

夏期研修で豆腐を手作り

JAとまこまい広域女性部厚真支部

6月24日、JAとまこまい広域女性部厚真支部（土居琴恵支部長）は夏期研修として、厚真町「こぶしの湯」の調理加工室で豆腐作りを行い、部員8名が参加した。同研修は農産物加工の知識を学び、共有することや部員同士の交流を目的に開催されている。

豆腐作りは厚真産の大豆を豆すり機で擦るところから始まり、すべて手作業で行われた。豆腐の材料は大豆、二ガリ、水のみ。擦った大豆を煮た後、圧搾機で豆乳を絞り出す。この工程で出たおからは和え物に調理され、大豆を余すことなく調理した。その後、二ガリを加え固まったものを型枠に入れ重しをかける。水槽の中に豆腐を移し、切り分けたら完成。部員同士が協力しながら和気あいあいと調理が行われた。参加した部員からは、「手作りの豆腐とおからの和え物を家族にも堪能してもらい、豆腐の作り方や今日の研修のことをみんなに伝えたい」と話した。
豆腐を作り終えた後、こぶしの湯内レストランで昼食をとり研修を終えた。



▲圧搾機に煮あがった大豆を入れている様子



▲完成した豆腐



▲おからを調理している様子



▲擦った大豆を煮ている様子

- 豆腐の作り方（ざっくり）
材料：大豆、二ガリ、水
①大豆を洗い、水に浸す。
②大豆と同量の水を注ぎながら豆すり機で擦る。
③擦り終わった大豆と同量の水を沸かし、擦り終わった大豆を加えなべ底に焦げ付かないように混ぜる。90℃になったら火を止め、その後2分混ぜ続ける。
④圧搾機に煮あがった大豆を入れて絞り、豆乳とおからに分ける。
⑤ぬるま湯でのはした二ガリを75℃の状態に保った豆乳に加え軽く混ぜる。蓋をして10分置く。
⑥型枠の四隅から固まった豆乳を入れ、蓋で重しをかけ10分置く。
⑦固まったら水槽に入れて包丁で切り分けて二ガリを抜く。完成。

厚真

出荷説明会・現地講習会を開催し、
初出荷を迎える

厚真町ハスカップ部会

厚真町ハスカップ部会（山口善紀会長）は6月4日に、厚真町東和地区 畑嶋昭氏の園場にて出荷説明会及び現地講習会を開催した。当日は生産者23名のほか、苫小牧中央青果株式会社と胆振農業改良普及センターの担当者が参加した。



▲開会挨拶をする山口善紀会長



▲JAとまこまい広域そ菜園芸課近藤隆貴職員による出荷説明



▲初出荷されたハスカップ

同会事務局のJAとまこまい広域農産部そ菜園芸課の職員が初出荷の日程確認を行い、今年はハスカップの生育が早かったこともあり、昨年より6日早い6月17日に初出荷を予定していると説明した。苫小牧中央青果株式会社が市場動向について、胆振農業改良普及センターがハスカップの園芸技術情報について説明した。同部会では在来種のほかに「ゆうしげ」「あつまみらい」を出荷する。

6月18日には、苫小牧市公設地方卸売市場内で初競りを行い、特大は56・4kgが出荷され、1kgあたり3,808円で販売された。ハスカップの出荷は7月上旬まで行われる見込みである。

厚真

経営所得安定対策交付金の
申請受付を行う

厚真町農業再生協議会

厚真町農業再生協議会（宮坂尚市朗会長）は、6月1日（月）から6月5日（金）にかけて経営所得安定対策等の交付金申請受付をJAとまこまい広域営農センターで開催した。農産部による米・小麦・大豆・てん菜の出荷契約とNOSA-北海道みなみ東部セン

また、受付期間中は多くの生産者が訪れ、受付待機時間には生産者同士の作業の進捗状況や近況報告についての会話が聞こえ、生産者同士の交流の場になっている。



▲生産者から聞き取りを行う職員

穂別

苫小牧市場の初競りで高値1万円

ほべつカンロ「ともしん」初競り

6月9日、苫小牧市公設地方卸売市場にて、むかわ町穂別地区のオリジナルブランド、ほべつカンロ「ともしん」の初競りが行われ、秀品サイズ6箱（8kg/箱）をはじめ計16箱が競りにかけられた。そのうち秀品2サイズ5箱に1万円の高値が付いた。



▲苫小牧市公設地方卸売市場の競りの様子



▲初出荷された、ほべつカンロ「ともしん」



▲初出荷した小林部会長

前日には、ほべつカンロ生産部会の小林朋導部会長（53歳）、山中光治さん（70歳）の2名が出荷した。

初競りにあたり小林朋導部会長は「春先は天候に恵まれ、生育は前進気味となった。スタートは小玉傾向だが、玉揃いが良く、糖度の高い美味しいカンロに仕上がったので、多くの人に食べてもらい食卓が明るくなれば嬉しい」と話した。

同部会では、本年度13戸の部会員によって、およそ3,500m作付し、約10,000ケースの出荷数量を見込んでおり、6月下旬〜7月上旬にピークを迎え10月上旬まで出荷が続く予定だ。

穂別

むかわ町穂別地区特産物
「ほべつメロン」初出荷・初競り

ほべつメロン生産部会

むかわ町穂別地区の特産物「ほべつメロン」が6月14日より穂別支所選果場にて初出荷を迎えた。今年は、ほべつメロン生産部会（後藤馨部会長）の佐藤裕次さん（64歳）、（株）石崎農園の石崎憲一さん（51歳）の2名が初出荷を飾った。

翌15日には札幌みらい中央青果にて初競りが行われ、秀品4玉7箱（8kg/箱）など計18箱が競りにかけられ、秀品5玉1箱に最高20万円の値がつき、幸先の良いスタートを切った。

初出荷にあたり石崎さんは「今年は好天に恵まれ、気温が高く生育が順調に進んだため、出荷は去年よりも4日早い。生産者一丸となつて、美味しいメロンをお届けするので、地域を代表する初夏の味覚を楽しんでください」と笑顔で話した。

ほべつメロン生産部会では、本年度18戸の部会員によって、およそ12haを作付け、約166tの出荷数量を見込んでおり、7月中旬に出荷のピークを迎え、8月中旬まで出荷が続く。

また、今年は部会が設立されてから50周年を迎え、10月21日に記念式典を開催する予定。



▲検査を受けている様子（むかわ町穂別）



▲初出荷された「ほべつメロン」（むかわ町穂別）



▲札幌みらい中央青果の初競りの様子（札幌市）

第54回あつま田舎まつり開催

JAとまこまい広域、お祭りの盛り上げに貢献

6月27日から28日の2日間にわたり、厚真町田舎まつり実行委員会は胆振管内の厚真町の表町公園で、『第54回 あつま田舎まつり』を開催。

JAとまこまい広域青年部厚真支部は2日間にわたり出店し、氷室メークインを使ったフライドポテトやかき氷、あつまジンギスカン、ビールなどを販売した。当日は天気がよかったこともあり多くの子供たちがかき氷を求め、青年部員による特盛サービスで笑顔が絶えなかった。参加した青年部員は「田舎まつり前日から雨が降り、天気が心配だったが、二日間とも晴れてよかった。青年部厚真支部として出店し、田舎まつりを盛り上げることができてよかった」と話す。ブース裏ではベテラン部員たちが炭を囲んで談笑し、お客さまだけでなく出店した部員たちもお祭りを大いに楽しんだ。

あつま田舎まつりの2日目、JAとまこまい広域厚真支所は「豊穰祈願祭」を執り行い、厚真管内の関係機関が参加した。農作物の豊作を祈願し、玉串奉奠や御神酒の鏡開きなどが行われた。また、特設のブースではお米のすくいどりが行われ、厚真産の「さく

ら米」を求めて開始前から長蛇の列ができ人気を博した。参加者は少しでも多くお米をすくおうと奮闘している様子であった。また、「軽舞熱送り太鼓」と「幌内神楽」には厚真管内の農業者が多く参加し、会場を沸かせた。

そのほか同JA購買部による出店や田舎まつり音頭パレードに役職員25名が参加するなど、様々な形でまつりを盛り上げ地域振興に貢献。あつま田舎まつりには約30店舗が出店し、来場者は名物の草原焼きを楽しみつつ、厚真町の「うまいもの」を堪能した。



▲青年部厚真支部のふわふわかき氷



▲氷室メークインのフライドポテトを販売する青年部員



▲豊穰祈願祭のお神酒の鏡開きの様子

白老牛銘柄推進協議会

2026白老牛肉まつり開催

今年も白老牛銘柄推進協議会が主催する「2026白老牛肉まつり」が、6月6日(土)から7日(日)の2日間にわたり開催された。

今回用意された牛肉は、すべて「上物」と呼ばれる最高級の白老牛4頭分。当日はあいにくの天候に見舞われたものの、会場には開催を心待ちにしていた根強い来場客の姿が見られた。白老牛を愛する多くのファンが傘を差しながらも食事を楽しむ様子は非常に印象的で、それぞれが炭火を囲み、贅沢な白老牛をじっくりと味わうなど、悪天候を吹き飛ばすような温かい活気に満ちていた。

会場では白老牛の焼き肉に加え、多彩な出店メニューも用意され、「ハンバーグサンド」や「ビーフカレー」、「ハンバーガー」などが並び、いずれも来場客から高い人気を博す。特に同協議会青年部が新たに提供した「白老牛タコス」は購入後に「とてもおいしい」と感想を伝えに返る来場者もいたほど非常に好評であった。

また、当イベントの象徴とも言える「黒毛和牛の丸焼き」が窯から出される瞬間には、ひととき大きな注目が集まる。じっくりと豪快に焼き上げられた見事な姿をひと目見ようと多くの来場者が集まり、焼き肉を買い求める長蛇の列ができるなど、会場は一番の活気にあふれていた。

実行委員長を務めた石田拓矢さんは、「まずは開催にあたり、ご協力いただいた関係者の皆さま全員に心から感謝申し上げます。初日はあいにくの降雨となり懸念されましたが、その後は曇りペースで天候が持ちこたえ、無事に全日程を終えることができました。今回は、私が発案した新しい企画を形にするために、青年部のメンバーとみんなで何度も試行錯誤を重ねてきました。その結果、来場者の皆さまから大変ご好評をいただき、白老牛のおいしさもたくさんの方々に楽しんでもらうことができて、本当に嬉しく思います。今回の成果を糧に、次回以降もより充実した催しを企画してまいります」と意気込みを語った。



▲会場の様子



▲白老牛タコスを作る石田拓矢さん



▲白老牛を求める行列



▲白老牛ハンバーグを焼く様子

さんさんかがやけ 期待の農力



丹精込めて
作物を育てる



ごう の 郷野 こう じ 晃慈さん(43歳) 厚真町豊川

昭和57年12月17日に札幌で生まれる。本州の1丁関係の会社に10年勤めた後、道内の農業法人に勤めた。
就農して4年目を迎えた現在は厚真町の豊川地区にてほうれん草ハウス10棟、オクラを栽培している。昨年結婚した妻の知子さんと二人で経営する。

就農のきっかけ

「農業をするおじいちゃんがかっこいいと思った」と語る晃慈さん。当時厚真町で水稻栽培を行っていた祖父の勉さんに幼いころから憧れていた。札幌に住んでいた当時も厚真に来た際、農作業を近くで見ていた。大人になり就職してから改めて、農業をする祖父の姿に憧れて就農を決意した。

実際に就農して

研修農場で3年間、仲間と共にほうれん草栽培の経験をしたが、一人で作付管理を行いほうれん草

ハウスを回転させ、ペースをつかむのが大変だったと当時を振り返る。「1年目は圃場の性質を掴めず、ほうれん草を上手く育てられなかった。敷地内には畑と水田の圃場がありそれぞれの特性があり大変だった」と語る。特に除草作業について長時間手作業で行ったこともあり苦労したという。また、ほうれん草は播種から収穫までの期間が短くいかにハウスを回転させ、年間収量を増やすかが肝であると実感したそう。

農業のやりがい

晃慈さんは「自分の育てた作物がみんなにおいしいと言ってもらえるのがうれしいし、やりがいを感じる」と語る。作物を作るのが楽しく、ほうれん草が育ち、ハウス内にびっしりと生え並ぶ景色を眺めるのが好きだという。「自然との知恵比べで上手いかなくても、工夫を凝らして対策するのが楽しい。手を掛けたら掛けた分だけほうれん草は答えてくれる」といきいきと語ってくれた。

今後の目標

今後について晃慈さんは「ほうれん草ハウスを増棟し、年間収量を増やしたい」と語る。経営規模を拡大することで管理作業の負担が増えると思うが、新しい資材を試したり、使えるものは使って高品質なほうれん草を育てたいと意気込みを語った。また、ほうれん草部会を盛り上げたいと話す。

理事会報告

令和8年4月8日(水)に総合営農センター1号室で第4回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



1. 一般報告と当面する諸行事について
2. 第3回監事会報告について(代表監事の互選、監事報酬、退任監事への退職慰労金の支給等)
3. 決算監事監査の意見に対する回答について
4. 春季組合員懇談会の報告について
5. 総代選挙の結果について
6. 役員就業中普通傷害保険への加入について
7. 出資基準に基づく出資増口計画について
8. 第25回職員研修大会の開催について
9. 令和7年度電力サーチャージについて
10. その他について
 - ①令和8年度役員名簿
 - ②組合の機構図
 - ③組合の役職員配置図(令和8年4月1日時点)



1. 令和8年とまこまい広域役員責任心得について



- 議案第 1 号 新理事に対するクミカン供給の承認について
- 議案第 2 号 新役員との利益相反取引の開示内容について
- 議案第 3 号 業務執行理事の互選について
- 議案第 4 号 代表理事の選任について
- 議案第 5 号 審査担当理事・信用担当理事の選任について
- 議案第 6 号 使用人の退職事由の除外について
- 議案第 7 号 学識経験理事の使用人兼務の決定について
- 議案第 8 号 地区担当理事・代行職の選任について
- 議案第 9 号 管理委員会、生産委員会、経営指導委員会に係る各委員の選任について
- 議案第 10 号 理事の序列について
- 議案第 11 号 令和8年度理事の報酬の配分と支給方法について
- 議案第 12 号 退任役員への役員退職慰労金の支給について
- 議案第 13 号 決算監事監査の回答について

さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

倒伏の原因を 把握しましょう！

近年は全道的に水稻の倒伏が発生しています。高温で多発する疑似紋枯症や土壌還元による根腐れなど、肥料以外が倒伏に影響している場合も多いので、原因を見極めて適切な対策を行いましょう。

1 肥料が多い場合の倒伏

肥料により大出来して倒伏する場合は、草丈が高く、過繁茂で葉が濃緑色なことが多いです(写真1)。肥料の掛け合わせ部分から倒れ始めることが多く、なびくように倒伏します。この場合は、全層施肥の減肥や倒伏軽減剤(ピピフルフロアブル)の出穂10日前散布が有効です。



写真1 多肥による倒伏

2 疑似紋枯症による折損型倒伏

疑似紋枯症による倒伏の場合は、茎に特徴的な病斑が目立ち、茎葉の枯れ上がりが早く、茎の節から折れるように倒伏します(写真2)。収穫時に止葉付近まで病斑があり、多くの株に発生している場合は、次年度に育苗箱処理剤(ミネクトフォルスター SC など)を処理するか出穂10日前の水面施用処理(リンバー粒剤4kg/10a)が有効です。発生量が多い場合のみ防除を行い、その後また発生が目立つようであれば防除を検討します。厚真町で調査した事例では、1度防除した後は3年防除せずとも被害は発生していません(下図)。



写真2 疑似紋枯症の病斑と茎の折損

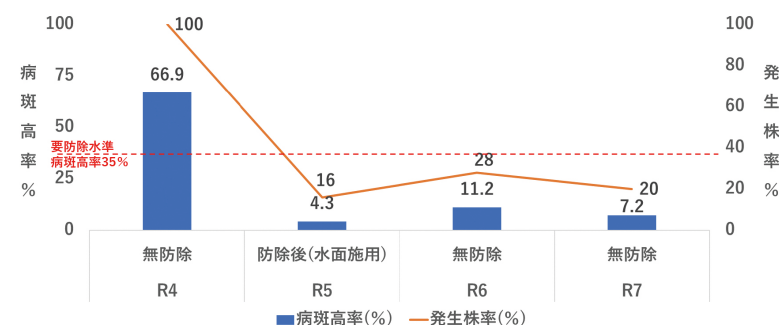


図 防除後(リンバー粒剤水面施用)の病斑高率の推移

3 根腐れによる倒伏

収穫時期までに土壌水分が多い状態で経過すると、根腐れにより倒伏が助長されます。

根腐れの場合は地際から倒伏しやすく、株が簡単に抜け、根が細く、赤褐色の見た目になります。ワキの発生しやすいほ場では、冷害危険期後に5日間程度の中干し、収穫前の落水を早めて地固めするなどの対策が有効です。土壌分析値の鉄分が低ければ鉄資材の補給も根の健全化につながります。



写真3 根腐れ症状

ワンポイント営農情報

麦収穫後次年度に向けて、土壌診断を実施しましょう！

- ☒なぜ生育がわるいのか
- ☒収穫量を増やしたい
- ☒最適な肥料を把握したい
- ☒今の土の現状を知りたい



土壌診断は、土の健康診断。作付けするほ場の状態を確認し、そのほ場にあった施肥を心掛けましょう。バランスの良い土づくりは、作物の生育を健全化します。



○結果を数値や表で見える化

1. 分析結果			
分析項目	単位	分析値	基準値
pH	-	6.0	5.5 ~ 6.5
EC	mS/cm	0.05	~ 0.40
有効態リン酸	mg/100g	25.5	10.0 ~ 30.0
交換性石灰	me/100g	197.2	170.0 ~ 350.0
交換性苛土	me/100g	55.1	25.0 ~ 45.0
交換性加里	me/100g	36.8	15.0 ~ 30.0
熱水抽出窒素	mg/100g	5.1	-

CEC(meq)	12.0	リン酸吸収係数	958.8	収比率	0.0
----------	------	---------	-------	-----	-----

2. バランス

分析項目	単位	分析値	基準値
石灰飽和率	%	58.5	40.0 ~ 60.0
塩基飽和率	%	87.7	60.0 ~ 80.0
石灰・苛土比	-	2.6	~ 6.0
苛土・加里比	-	3.5	2.0 ~

○必要な資材の施用量がわかる

1. 土壌改良資材施用量

資材名	施用量 (kg/10a)	価格の目安(円/10a)
防散苦土タンカル	80	2,948

設計2 (JAお勤め肥料)

資材名	NPK	施用量 (kg/10a)	要素量					価格の目安(円)
			窒素	りん酸	加里	苛土	ホウ素	
BB麦082	□□□	80.0	8.0	14.4	9.6	4.0		11,284
合計		80.0	8.0	14.4	9.6	4.0		11,284

シリーズNo.67 おいしい米づくり

～夏場の病害虫防除のポイント～

1 いもち病

昨年の葉いもち病感染好適条件は、6月6半旬と早い時期となっていました。今年は昨年ほど早い時期ではありませんが、例年発生しやすい条件となっています。

基幹防除(出穂期)のみを予定している場合は、止葉期からの予察も併用し、出穂前のタイミングを逃さないように防除を行いましょう。



穂いもちが広範囲に発生したほ場

2 アカヒゲホソミドリカスミカメ

近年は止葉期頃からの高温が多く、後半の虫の発生が多くなる傾向があります。

適切な防除が出来なかったほ場では、登熟中盤からの水田への飛込みが多くなる危険性が高いので、効率化を図った基幹防除ではタイミングを外さないよう注意願います。

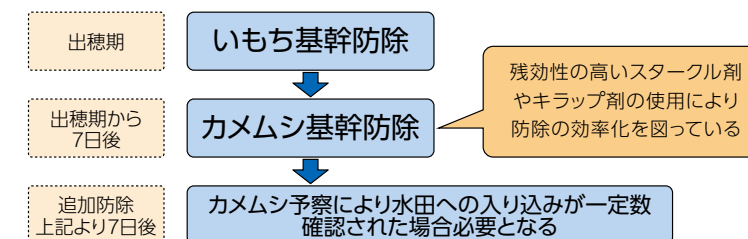


図1 カメムシの防除体系



とまこまい広域女性部白老支部ガーデニング講習会 「個性豊かな鉢植え作りに挑戦」

6月19日（金）、とまこまい広域女性部白老支部はガーデニング講習会を開催。当日はあいにくの雨模様となったが、部員8名が集まり、終始和やかな講習会となった。

今回は、講師役を務めた女性部員の平野富士江さんから、それぞれの花の特徴について丁寧な解説を受けながら制作に励んだ。前回の講習会では土づくりから始めたが、今回はあらかじめ用意されたガーデニング用の土を使用したため、アレンジメントにたっぷり時間をかけることができた。講師の的確なアドバイスのもと、部員たちはそれぞれの個性を存分に活かし、自分好みの素敵な鉢植えを完成させた。支部長の中村利香さんは、「日常生活の癒しとして注目されているガーデニングですが、緑や土といった自然に触れる時間は、本当に心を穏やかにしてくれます。部員全員が好きなお花を選び、個性豊かなアレンジを楽しむことができました。すでに自分の鉢植えに愛着がわいているので、帰ったらさっそく農場に飾りたいと思います」と笑顔で話した。

講習会後の会食は、白老町内、天野ファミリーファームの屋外スペースをお借りして開催。香ばしい焼肉を囲みながら、出来上がったばかりの作品の話題で大いに盛り上がった。「秋まで長く楽しめそう」といった声も聞かれ、終始和やかで温かい雰囲気包まれた一日となった。



▲講習会の様子



▲完成したガーデニングの前で集合写真



▲完成したガーデニング

青年部Instagram開設のお知らせ

日頃よりJAとまこまい広域青年部の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。この度、Instagramアカウントを開設いたしました。これから各イベントや農作業についてなど、皆様に青年部活動や農業の魅力についてお知らせできるような投稿をしてまいりますので、ぜひフォローをお願いいたします。

・アカウント名: @ja_youth.tomakomaikouiki

・URL: https://www.instagram.com/ja_youth.tomakomaikouiki?igsh=eW90cnRic3hyeHhs&utm_source=qr

・QRコード



JA 日誌

2026 7月

16日(木) 第7回移動理事会(早来)

17日(金)

18日(土) 穂別流送まつり ~19日

19日(日)

20日(月) 海の日(祝)

21日(火) 第6回企画会議

22日(水) 厚真支所廃プラ回収・搬出 ~24日

23日(木)

24日(金) 厚生連 第4回理事会

25日(土)

26日(日)

27日(月) 自民党移動政調会(苫小牧)
日胆地区共済推進委員会(苫小牧)

28日(火) 第7回経営会議
穂別支所経営指導委員会

29日(水)

30日(木) 北海道酪農協会 中央要請

31日(金) 共済連通常総代会(東京)
戸田道議ビルパーティー(白老)

2026 8月

1日(土) 第2回半期実地棚卸

2日(日)

3日(月) 第3回新採用職員研修会
4地区監事協議会 夏季研修会

4日(火)

5日(水) 厚真支所経営指導委員会

6日(木) 准組合員交流イベント「親子バスツアー」(くるの杜)
ホクレン肉牛市場

7日(金) ホクレン乳牛市場
とまこまい港まつり開会式

8日(土)

9日(日)

10日(月) 早来支所経営指導委員会

11日(火) 山の日(祝)

12日(水)

13日(木)

14日(金)

15日(土)

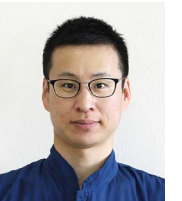
令和8年度 新採用職員紹介

令和8年6月1日、新採用職員の辞令交付を行いました。

【厚真支所営農課】

正職員(キャリア採用)
廣瀬 文昭(ひろせ ふみあき)

- ①出身地 ②出身校 ③趣味・特技 ④ご挨拶
- ①大阪府 ②札幌学院大学 大学院 ③水泳 ④早く業務に慣れ、皆様のお役に立てるよう頑張ります。



職員異動 R8.6.30 退職者一覧

購買部 吉村真由子 平成5年4月1日 入組 依願退職

旧早来町農協: 管理部金融共済課組働係、管理部総務管理課電算係、資材部資材課生活課庶務経理係、管理部総務管理課総務企画係総務企画電算係、営農生産部農産課農産係庶務経理係、管理部総務管理課総務企画係経理電算係
JA合併後: 早来支所管理金融課管理係、早来支所金融共済課貯金共済係、畜産事業部畜産課酪農係、畜産事業部畜産課畜産係、畜産部畜産課畜産主任、企画管理部管理課調査役、早来支所資材燃料課生産資材調査役、購買部早来・追分購買課早来資材店調査役、購買部機械燃料課厚真給油所調査役

ASC北海道試合スケジュール

- 7/19 ノルブリッツ北海道 10:00
第49回北海道サッカーリーグ2026 第8節
TOMASEI フットボールフィールド
- 7/26 北誠会岩見沢 14:30
第49回北海道サッカーリーグ2026 第9節
岩見沢岡山スポーツフィールド
- 8/2 BTOP北海道 10:00
第49回北海道サッカーリーグ2026 第10節
浜厚真野原公園サッカー場

お悔やみ 謹んでご冥福をお祈りいたします。

月日	地区	氏名	享年
6/7	厚真町	吉江 一男さん	89
6/20	厚真町	海沼キクエさん	95
6/28	安平町	城畑 仙二さん	98

ホクレン南北海道黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(7月)

令和8年6月11日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白老	去勢	28	795,036	1.182	2,323
	雌	10	749,000	1.143	2,121
早来	去勢	20	853,450	1.299	2,298
	雌	10	744,900	1.131	2,133
厚真	去勢	10	826,100	1.228	2,277
	雌	11	701,727	1.032	2,235
穂別	去勢	15	826,467	1.250	2,330
	雌	15	716,467	1.047	2,265
追分	去勢	5	799,600	1.159	2,283
	雌	9	756,444	1.117	2,220
とまこまい広域	去勢	78	820,333	1.229	2,309
	雌	55	731,145	1.088	2,199
胆振管内	去勢	160	838,106	1.225	2,345
	雌	119	732,210	1.071	2,228
市場計	去勢	874	815,269	1.182	2,374
	雌	688	722,256	1.043	2,295